

第10回目となるシリーズ「連携」は、「特別養護老人ホームくざの里」で、社会福祉法人可部大文字会の理事長 梶原澄子様にお話を伺いました。

－ 可部大文字会の設立の経緯についてお聞かせください

社会福祉法人可部大文字会は、「山まゆ糸のように光輝く最高の人生を送られることを、心から願って」を基本理念として、広島市安佐北区可部大林の地に平成13年設立、翌年14年に「特別養護老人ホーム山まゆ」をオープンしました。

「山まゆ」の命名の由来は、この可部大林の地が、蚕の山繭発生地であること、そして、蚕の中では最高の繭であることから、この名となりました。

この理念のもと、入居者、職員と共に光輝く人生を送っていただきたい、その思いを強く持ち、施設の閉鎖性と入居利用者の孤立感を解消した、開かれた施設となるようにと「地域と共に」をスローガンに施設の運営を行っています。

私は法人設立以前、介護福祉士の養成校に勤務していました。ちょうど介護保険制度が始まる時期でしたが、当時の学生達から制度について聞かれても現場を知らなかった私が答えることができなかったので法人設立を決意しました。当時は学生の実習先の確保に難渋することが多く、将来の介護の担い手確保の為、広島市に介護従事者の育成の場として施設を作らせてくださいとお願いしました。

現在は特別養護老人ホーム、短期入所生活介護事業所、グループホーム、デイサービス、小規模多機能施設、サービス付高齢者向住宅と多施設を運営しています。将来的に必要な状況になるとの見込みがありました。様々な形態の施設があることで、多くの実習生を受け入れることが可能となっています。

－ 特別養護老人ホームくざの里 開設の経緯についてお聞かせください

平成26年「久佐まちづくり振興会」の方々から廃校になった小学校の利活用について相談を受けました。平成28年に改めて依頼をいただいた際、地域の方々の故郷を思う熱い情熱に胸を打たれ、10年前から地域の方々のアンケートを募り、福祉施設を強く要望されたことも重なり、ユニット型特養の開設に向け、地元の方々の協力をいただき、平成29年4月1日「共に築き、共に喜び、共に支え合い」の合言葉でスタートいたしました。

この施設の名前は地域の方々から募集を行い「特別養護老人ホーム くざの里」と命名いたしました。職員採用については、少しでも雇用の場になればとできる限り地元採用を心掛けました。

施設サービスとしては「安心」、「安楽」、そして「食」の喜びを念頭に置いています。安心して召し上がっていただける食事提供に特に気を配っております。

開設から3年が過ぎ、毎年地元の夏祭りや敬老会へ、入居利用者の方々の参加を快く受け入れていただいています。

令和元年11月には災害に備えて42時間発電機の設置を行いました。もちろん地域の方々にも利用していただきたいと思っています。

今後もこの施設をもっと地元へ密着させ、入居利用者の孤立感と閉鎖性を解消すべく開かれた施設をめざし、心豊かに余生を過ごしてもらうことを願って運営を行っています。



－ 地域の現状、連携のあり方についてお話をお聞かせください

中山間地域では雇用の場の確保が大きな課題です。当法人は広島市に拠点を置いています。職員については地元雇用をと考えています。地元で根付いた職員育成を大切にしています。

連携については、社会資源が少ない中山間地域ですので、病状や家族事情により一旦は地元を離れることもあるかもしれませんが、病状等落ち着いたところで地元に戻って来ていただけるよう連携して支援することが重要と考えています。

－ 人材確保・育成についてお聞かせください

日本は少子化が進み、福祉現場において介護人材不足は避けては通れないのが昨今の現状です。そうした中、可部大文字会は早くから外国人技能実習制度を利用し、現在「特別養護老人ホーム山まゆ」では6名のインドネシアの方々が働いています。日本語も上手で介護技術もしっかりしています。これを踏まえ、「特別養護老人ホームくざの里」にも3名を予定していますが、コロナウイルス感染拡大の影響で入国が延期となっています。一日も早く入職されることを願う毎日です。今年4月には外国人のための介護に特化した技能実習センターを広島市安佐北区可部町に開設させていただきました。今後も外国人技能実習生の確保を進めていく予定です。

－ 今後の展望・事業展開についてお聞かせください

私たちの法人では毎年地域連携として、子どもたちへのスポーツ少年野球教室を行っています。広島カープの選手4～5人に来ていただいて、指導してもらっています。ここ、「くざの里」は小学校跡地ということもあり、夏のキャンプや野球教室をしたいと思っています。

地域の声に耳を傾け、「介護教室」「健康教室」「料理教室」など、依頼があれば有資格者の職員派遣を行い、このことが職員のモチベーションの高揚につながればと思っています。

私たちが地域行事にも積極的に参加し、また、反対に地域の方々が施設にお手伝いに来ていただけるなど、良い関係が構築できればと思っています。

これからも地域の方のふる里として、「くざの里」を入居だけでなく多方面において気軽に利用していただければ幸いです。

社会福祉法人 可部大文字会 特別養護老人ホームくざの里

〒697-0303

島根県浜田市金城町久佐1560番地1

TEL : 0855-42-2024 / FAX : 0855-42-2021

<http://www.kabedaimonjikai.or.jp/>

